奥州金ケ崎地域医療介護計画の概要

序章 計画の策定

計画の趣旨

胆江圏域の現在の医療及び介護の需要と提供体制の状況把握を行い、将来に渡る医療ニーズの変化と地域の実情に応じた医療提供体制の確保を図ります。

第1章 胆江圏域の医療・介護の現状分析と課題対応

I. 現状分析

- ○令和2年以降全ての世代で人口が減少すると推計されている一方、高齢者の割合は増加することから、人口 構成の変化に対応した医療・介護体制が必要と考えられます。
- ○病院・診療所及び診療科の配置は概ね人口分布に応じた状況であり、外来・入院・救急に関する医療提供体制は概ね充足していると推測されます。
- ○介護施設の入所者、待機者とも増加傾向を示し、今後も高齢者世帯の割合が増加することから介護施設や在 宅医療の需要増が見込まれ、それぞれ対応が必要と考えられます。

人口及び年齢構成の推移と将来推計(胆江圏域)

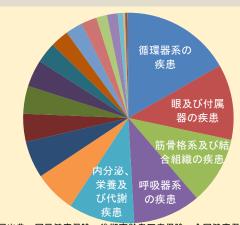
胆江圏域の総人口は減少し続ける見込みである。65歳以上の高齢者人口は令和2年にピークを迎える見込みである。65歳以上の高齢者の割合は増加し続ける見込みである。



出典:国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(平成30 年推計)より試算

地域別疾病動向(胆江圏域)

胆江圏域の疾病動向は、「循環器系の疾患」「眼及び付属器の疾患」「筋 骨格系及び結合組織の疾患」「呼吸器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝 疾患」が高い割合を占めている。



出典:国出典:国民健康保険、後期高齢者医療保険、全国健康保険協会、岩 手県市町村職員共済組合の入院及び入院外のレセプトデータより抽出

病院・診療所分布

胆江圏域には9病院あり、官民の内訳は、公立4、民間5となっています。 診療所は80診療所があり、地域毎の分布は水沢46、江刺17、前沢9、胆 沢2、衣川1、金ケ崎5となっている。



入院患者数及び余裕度

入院患者の状況については平成 27 年度から平成 28 年度にかけては 8,801 人滅少しているが、平成 28 年度から平成 29 年度にかけては全体で 1,522 人増加している。

	医療機関名	人院患者数(延べ人数)			年度比較		H31余線	H31余被度
	区 保 地 打 白	H27	H28	H29	H27 ⇒ 28	H28 ⇒ 29	(年間)	(18平均)
	胆沢病院	99,775	99,089	101,424	-686	2,335	20,440	56.0
	石川病院	8,099	7,533	8,125	-566	592	730	2.0
	奥州病院	43,827	41,961	47,230	-1,866	5,269	10,585	29.0
1	おとめがわ病院	90,587	89,003	88,867	-1,584	-136	365	1.0
	美希病院	82,138	85,427	84,770	3,289	-657	9,125	25.0
	総合水沢病院	48,411	46,535	45,071	-1,876	-1,464	1,095	3.0
	江刺病院	31,047	27,824	24,371	-3,223	-3,453	3,869	10.6
	まごころ病院	14,524	13,764	11,790	-760	-1,974	0	0.0
	美山病院	70,825	69,296	70,306	-1,529	1,010	2,190	6.0
	計	489,233	480,432	481,954	-8,801	1,522	48,399	132.6

出典:医療機関アンケート集計結果

介護施設の入所待機者数 各年度の4月1日時点の入所待機者の状況を比較すると、おおむね同数の 待機者となっている。待機者の住所を見ると奥州市の待機者が増加傾向に あり、金ケ崎町、その他の住所者が減少傾向となっている。 入所待機者数(待機者の住所別) 1200 119 1000 800 10 600 400 200 20 0 H29 H31 H29 H31 H29 H31 H29 H31 H29 H31 H31 前沢 水沢 胆沢 初川 金ケ崎 ■奥州市 ■金ケ崎町 ■その他 出典:介護事業所アンケート集計結果



Ⅱ. 課題・対応

人口推計と疾病動向・医療施設等・医療需給

【課題】

- ◆人口の変化に伴う適切な医療提供体制の構築
- ◆地域完結型の医療提供体制の構築
- ◆病床機能の明確化と将来に渡る医療提供体制の 構築
- ◆適正病床数の検討・協議
- ◆医師の地域偏在や医療従事者減少の抑制
- ◆公立医療機関の役割の明確化
- ◆歯科診療所、調剤薬局の在宅医療における需要増 に対する提供体制の維持・継続

【対応】

- ○市立病院・診療所改革プラン等の見直し
- ○地域医療構想調整会議への積極的参画
- ○奨学金返済支援事業等の継続
- ○奥州医師会、奥州歯科医師会、奥州薬剤師会との 連携体制の維持・継続

在宅医療と介護

【課題】

- ◆地域包括ケアシステムの構築
- ◆将来の需要増に対応した在宅医療提供体制の整備
- ◆需要増に対する訪問看護提供体制の強化
- ◆介護従事者の人材確保

【対応】

- ○在宅医療介護連携拠点の機能充実や多職種間の連携 体制の強化
- ○関係機関との連携推進及びバックベッド等の体制や ネットワークの整備
- ○機能強化型訪問看護ステーションへの機能転換
- ○本計画に係る調査・分析内容の第8期介護保険事業 計画における事業推進
- ○奨学金等支援の継続

高額医療機器(CT・MRI)の保有状況

【課題】

◆共同利用による効率的な活用の推進

【対応】

○岩手県外来医療計画の共同利用の方針に基づき、 関係機関と協議。

救急対応

【課題】

- ◆基幹病院(胆沢病院)の負担軽減
- ◆救急医療サービス情報の周知
- ◆救急医療提供体制の継続

【対応】

- ○救急医療情報及び休日当番医情報の総合的な提供
- ○関係機関の協力による休日・夜間における初期医療 提供体制の継続
- ○休日・夜間診療所の医療環境の整備に向けた検討
- ○病院群輪番制病院運営及び私的二次救急医療機関 運営の継続

周産期医療

【課題】

- ◆分娩取扱施設の維持・確保
- ◆県及び広域連携による周産期医療体制の維持・確保
- ◆妊産婦に対する経済的、身体的負担軽減の支援拡充 【対応】

- ○分娩取扱施設設備整備事業の継続及び一部拡充
- ○岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏連絡会議の連携 強化
- ○妊産婦支援や産前・産後ケアの拡充の検討及び妊産 婦への宿泊費補助制度の創設検討

小児医療

【課題】

- ◆救急・入院対応の広域的な連携体制の構築
- ◆一般小児医療や初期救急対応の連携体制の維持
- ◆保護者の不安解消につながる対応の周知

【対応】

- ○小児地域支援病院への医師拡充要請の継続及び広 域的な連携体制のあり方の検討
- ○胆江圏域の入院体制整備に向けた連携協議の継続
- ○休日・夜間診療所の継続、小児専門以外での受入体 制の維持・確保に関する医師会などとの連携・協力 の継続
- ○「こども救急相談電話」や市町・保健所での各種相 談活用の周知

へき地医療

【課題】

- ◆移動診療車での巡回診療によるへき地医療の維持
- ◆衣川診療所の維持可能な体制の構築
- ◆過疎化、高齢化が顕著な地域の初期医療の確保

【対応】

- ○へき地医療拠点病院(奥州病院)との協力・連携 強化
- ○地域住民や奥州医師会との連携拡大

第2章 胆江圏域の医療・介護体制の確立

I. 地域包括ケア体制の確立に向けた取り組み

- ●サービス提供状況調査などによる実情の把握と分析
- ●在宅医療と介護の連携に関する課題抽出と対応策の検討
- ●情報資源の共有による入退院時や在宅療養における多職種連携の推進
- ♪療養支援における MCS(ICT を活用した多職種連携ネットワークシステム)の普及促進
- ●エンディングノートの活用によるACP(アドバンスケアプランニング)の推進
- 在宅医療・介護関係者の各種研修会、情報交換会の開催
- ●地域住民の在宅医療に関する理解促進と知識の向上を図るための普及啓発
- 本宅医療・介護連携に関する関係市町の連携

Ⅱ. 各医療機関の現状と役割

県立病院の役割

二次救急、高度・専門医療等、生命に関わる医療を担う中核的施設。

市、町立医療機関の役割

民間では担うことが出来ない、住民にとって必要な政策的な医療の提供。

民間医療機関等の役割

日常的な医療を提供する地域のかかりつけ医。

地域包括ケアシステムにおける在宅医療を支える地域の医療機関。

医師確保対策

市の医師養成奨学資金貸付制度の利用者拡大の推進。

制度活用後の配置先拡大や履行基準緩和の検討、大学との連携強化など安定的な医師提供体制の構築。

Ⅲ、市立医療機関の連携・再編

再編等に係る基本的な視点

各医療機関の機能分担と連携を強化し、他の病院と重複し過剰と認められる機能の見直しや地域に不足が見込まれる機能へ特化するとともに、経営、財政とも持続可能な体制を目指すもの。

財政の健全化

医療局の収支において、一般会計からの繰入金は大きな割合を占めており、経営の健全化に向けた取り組みを進める。

病床規模

平成30年度病床機能報告の胆江圏域許可病床数1,437床のうち、民間診療所分を除いた1,339床から、岩手県地域医療構想が示す令和7年の必要病床数約1,200床を差し引いた139床が圏域の減床数の基本と考え、そこから今後の病床変動要素のほか、感染症対応の病床確保が必要であることを考慮し、市立医療施設全体として100床程度を減床することとした。

医療機関	既存病床数		病床数	
市立医療施設	235 床	約 100 床 を減床	130 床程度	

重点施策

- ① 在宅医療介護連携拠点の設置
- ② 地域包括ケア病床の拡大及び在宅療養支援病 院等の検討
- ③ 訪問看護ステーションの体制強化及び訪問看護の拡充
- ④ 病後児保育事業所の再開
- ⑤ 妊産婦支援、子育て支援の整備
- ⑥ 感染症病床の維持、新たな感染症等への対応 を考慮した体制の検討
- ⑦ 急性期機能の機能分化による再編の検討
- ⑧ へき地医療の維持及び移動診療車の活用による医療提供体制の維持

次期奥州市立病院・診療所改革プランの策定

市立医療機関の機能分担及び再編については、 次期奥州市立病院・診療所改革プランを策定し、 毎年度、実施結果について評価・検証を行う。 奥州金ケ崎地域医療介護計画概要版

令和 2 年 11 月

発行/奥州市・金ケ崎町

編集/奥州市福祉部地域医療介護推進室 金ケ崎町保健福祉センター